

【小学校 算数】

<p>算数 A (知識)</p>	<p>成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数及び小数，分数の四則計算を行うこと。 ・加法と乗法の混合した整数の計算をすること。 ・数の相対的な大きさについて理解すること。 ・平均の意味を理解し，測定値の平均を求めること。 ・表を用いて2つの数量の関係が比例であることを理解すること。 <p>課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積についての感覚を身に付けること。 ・立体図形の辺と面の垂直の関係を理解すること。 ・場面と図とを関連付けて，二つの数量の関係を理解すること。 ・1に当たる大きさを求めるために除法を用いること。 ・百分率の意味について理解すること。 	<p>算数 B (活用)</p>	<p>成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金の支払い方の工夫を解釈し，おつりの金額を硬貨の種類と枚数に対応させること。 ・跳び箱の図を観察し，指定された段の高さを求める式を読み取ること。 <p>課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬貨の種類と枚数を比較し，一方の支払い方のほうがおつりの枚数が少なくなる理由を記述すること。 ・面積が等しい直角三角形を基に筋道を立てて考え，面積の関係を記述すること。 ・はかりを適切に読み取り，与えられた条件を基に筋道を立てて考え，重さの求め方を記述すること。 ・一輪車の図から円を見だし，円の性質を用いて，長さを求めること。 ・表から適切な数値を取り出して割合の大小を判断し，その理由を記述すること。
----------------------	--	----------------------	--



学校における学習活動の改善方策例

問題を解くための見通しをもつ活動を積み重ねる。
書いて考え，考えて書く活動を積み重ねる。

学習した内容を日常生活に生かしたり，日常生活の中で大きさや重さなどの見当をつけたりする学習を繰り返す。

問題を図に表し，数量の関係（基準量・比較量・割合）を的確に読み取らせる。

演算の決定が正しいことを図で確かめる習慣を身に付けさせる。

記述した内容を見直し，よりよい記述へと書き加えさせる。

基準量が何かを考えられるよう，数量の関係をテープ図などに表す活動を取り入れ，百分率を考えさせる。

考えた根拠を表やグラフ，図，記号などを用いながら，説明させる。

身の回りにある事象を，図に置き換える等して，抽象化する作業に取り組みさせる。

学校の学習を生かした家庭学習の参考例

文章問題を解くときには，必ず図や絵で表してみましょう。また，解いた後には，図などを使って確かめをしてみましょう。

身の周りにあるものの，大きさや重さ，広さなどの見当をつけてみましょう。また，習った図形と似た形がないか，探してみましょう。

問題を解く際は，考えを式だけではなく，言葉でもノートに書いてみましょう。